

## 津山まちなかカレッジ1周年記念イベント

岡津山まちなかカレッジ事務局（株式会社パナ岡山内：アルネ・津山4階） ☎31-2232

津山まちなかカレッジ（通称：まちカレ）の開設1周年を記念して、仕事・暮らし・子育て・美・健康・食など、女性を対象にしたさまざまなテーマを取り上げたイベントを開催します。

### 津山まちなかカレッジ1周年記念イベント SMILE WOMAN Lab.～私らしく生きる～

とき 10月21日(日)午前10時～午後5時

ところ 津山まちなかカレッジ（津山市地域交流センター内：アルネ・津山4階）

内容 女性のための働くタイミング診断、創業・企業紹介セミナー、ピンクリボンフェスタ、マルシェなど

参加料 無料

締め切り 10月15日(月)

※定員や申込方法など、詳しくはお問い合わせください

### まちカレとは？

地域で活躍する人を育成する「学びの総合空間」として、平成29年10月1日に開設した人材大学校のことです。

小学生から高齢者まで幅広い世代が、実践的に学べるさまざまな講座を開催しています。詳しくは、ホームページ(<https://machikare.jp/>)をご覧ください。

まちカレ  
「まち・しごと・じぶん」がやぐ

### ピンクリボンフェスタとは…

10月は、乳がんについて知識を深め、乳がん検診の受診を促進する「ピンクリボン月間」です。ピンクリボンフェスタでは、女性のための健康相談のほか、女性向けのさまざまなイベントや家族で楽しめるスタンプラリーなどを開催します。

## 公共交通について考えよう ～10月14日は鉄道の日～

岡経済政策課 ☎32-2075

7月に発生した西日本豪雨災害では、公共交通に大きな被害が出ました。鉄道の運休などにより、市内の高校生だけでも500人以上の通学に影響があり、自治体やJRが臨時バスを運行するなどして対応しました。さらに、路線バスでも運休や替え道運行などが発生し、利用者の生活に大きな影響を及ぼしました。

鉄道やバスなどの公共交通は、あることが当たり前とされていますが、利用できなくなると、移動手段として非常に重要な役割を担っていることが分かります。

一方で、公共交通の利用者は減少傾向で、地方都市の公共交通はほとんどが赤字運行となっています。バスの運転手不足も深刻で、全国的に減便や廃止になるバス路線が増えています。

### ■ライフラインとしての公共交通を考えよう

自家用車で移動するため普段は公共交通を利用しない人にとっても、「けが」「運転免許証の返納」などの理由で自家用車以外の移動手段が必要になったとき、利用できないと困るのが公共交通です。

### ■公共交通に乗って維持しよう

公共交通を維持するためには、一人ひとりが「公共交通を守る（乗って残す）」という意識を持って、鉄道やバスを利用していくことが重要です。

普段、利用しない人も、公共交通について改めて考えてみましょう。



鉄道や市内路線バスの運行状況は、インターネットから検索できます

#### ■鉄道

JRおでかけネット URL <https://www.jr-odekake.net/>

#### ■市内路線バス

津山市広域バス乗車案内 URL <http://www.tsuyama-bus.com/>

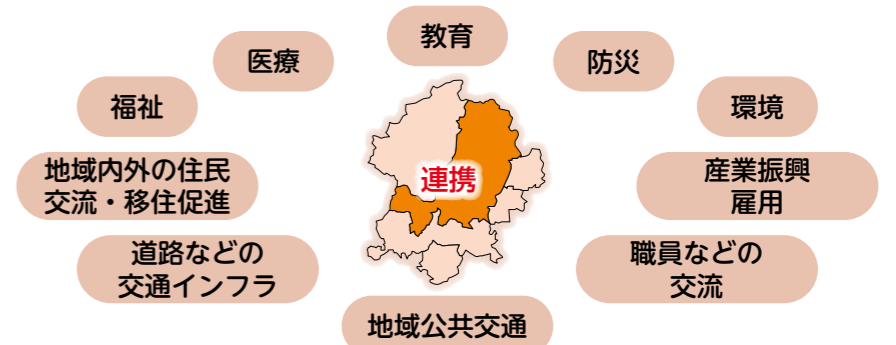
## 津山市の広域連携の取り組みを紹介します

岡みらいビジョン戦略室 ☎32-2027

市では、人口減少や少子高齢化が進行する中、自治体の枠を越えた広域連携による活力と魅力ある地域づくりを目指し、平成29年度から「津山圏域定住自立圏」と「岡山連携中枢都市圏」の取り組みを進めています。

### 津山圏域定住自立圏 津山市・鏡野町・勝央町・奈義町・久米南町・美咲町

暮らしや経済の結び付きが強い地域が、それぞれのまちの魅力や特徴を生かした役割分担のもと、連携・協力することで、圏域全体の暮らしを支え、人口減少に歯止めをかけることを目的として取り組みを進めています。



### ■具体的な取り組み事例

#### 子育て支援の充実



未就学児の一時預かりルームの設置など、まちなか子育て支援拠点の共同利用



小学生以下の子どもを対象とした病児保育実施医療機関の共同利用

#### 地域内就業の促進



圏域内の企業の合同説明会や就職面接会の開催



企業の見学やものづくり体験をするつやまエリアオープンファクトリーの開催

#### 移住定住促進



・大都市圏などでの移住定住相談会の開催や移住定住に関する情報発信  
・結婚支援事業の実施

### 岡山連携 中枢都市圏 岡山市・津山市・玉野市・総社市・備前市・瀬戸内市・赤磐市・真庭市・和気町・早島町・久米南町・美咲町・吉備中央町

人口減少や少子高齢化が進む中、住民が安心して地域に住み続けられるよう、中枢都市の岡山市と各市町が、特定の行政分野について連携協約を結び、魅力あふれる圏域づくりを進めています。

### ■連携する分野と具体的な取り組み事例

